



「輝く人」とは、夢のため、人のため、地域のため、一つのことに取り組んでいる人。それぞれ目的は違えど、その活動は、より良いまちづくりへとつながっています。「輝く人」の輝きを多くの方に知ってもらいたい、その思いが「輝く人」シリーズの原点です。

一人でも多くの 子どもの命を救いたい



エコキャップ・マーガレットの会

代表の渡辺節子さんにお話を伺いました。



「トットポトルキャップがワクチンと交換できて、世界の子どもの命が救えるんだよ」東京にいる娘からその話を聞いて感銘を受けました。大竹でも活動ができないかと思い、社会福祉協議会の協力を得て、平成22年に「エコキャップ・マーガレットの会」を立ち上げました。現在は8人で活動しています。キャップはメンバーそれぞれが地域の方からいただいたり、栄公民館や社会福祉協議会でも集めています。集められたキャップから使えるものを選別し、袋詰めにしてエコキャップ推進協会に送ります。

捨てればただのゴミになるキャップ。それが860個で1人分のポリオワクチンになるんです。環境にもやさしいですよ。これまで、32万6千880個(約760kg)のキャップを送り、388人分のワクチンになりました。一人でも多くの子どもたちの命を救いたいという、メンバー全員の思いが活動を続けていく原動力になっています。救える命が増えていくたびに、嬉しい気持ちになり、喜び合っています。

日本では考えられない貧困や恵まれない環境の中で生きている子どもたちが、日々を平和に、人間らしく生きていけるよう願っています。

エコキャップ活動にご協力ください
洗ったキャップを栄公民館または社会福祉協議会に持って行こう！